

57. 音楽を通して介護予防と子育て支援事業

グループ名 えくぼ
 代表者 荒木 仁

① 活動の目的

- ・音楽を通じた音楽療育活動で豊かな生活を支援する
- ・子供のための体験活動で居場所づくりを図る
- ・参加型の活動により介護予防を支援する
- ・伝統文化・地域文化の発掘と伝承活動を推進する

② 活動概要

音楽を通しての「音楽療育活動」子供の居場所づくりの「子育て支援活動」で新たに人形劇を取り入れて活動内容の充実を図っています。

少子高齢化が急速に進み、福祉施設を利用される方も急増しています。また、少子化で子供たちの遊び相手がいなくどうしても家にとじこもり、ゲームなどに走ってしまいがちになっている状況です。新たな活動【人形劇】は、ただ見てもらうだけのものではなく、参加型を取り入れ実際に人形を触り、あやつり実演をしてもらいます。このことにより、脳の活性化が図られ、身体機能の維持向上し、回復効果、コミュニケーションづくりなどに大きな効果があります。ひいては、介護予防へと繋がっていきます。また、演ずることにより、より親睦が図られます、こどもにおきましては、家に閉じこもりのこどもを引き出し、人形劇を実演させることにより、友達との協調心が図られ、子



供同士の連帯感は深まり、子供同士・子供と親・親同士のコミュニケーションを図ることができます。この度助成していただいた人形劇をさらに、演技者の増員を図りながら地域の福祉活動向上へ向けて活動範囲・活動回数の増加を目指して活動してまいります。



③ 決算報告書

収 入	大同生命厚生事業団助成金	90,000 円
支 出	人形劇作成費	
	子供人形 @5,000×12 体	60,000 円
	トリプル人形 @16,000×2 体	32,000 円
	合 計	92,000 円